

人、ひとりひとりの心地良さ

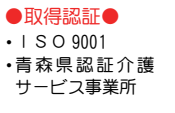
社会福祉法人青森社会福祉振興団

まるめろ通信

新春特別号

【まるめろ通信 / 第 170 号】

特養 みちのく荘 ☎ 0175(23)1600
特養 金谷みちのく荘 ☎ 0175(23)0781
みちのくクリニック ☎ 0175(23)1171
特養 まるめろ ☎ 022(797)0273



目標は 100歳まで元気に長生きすること！

さとう よしかつ 佐藤 芳克 さん 昭和5年 午年生まれ 95歳
岩手県一関市藤沢町出身

私の小径
こみち

年男特集



佐藤芳克さんは、日本専売公社へ勤める父と専業主婦の母のもと、8人兄弟の3番目として生まれました。
決して裕福な時代ではありませんでしたが、芳克さんが「本が欲しい」と言うとうすぐ買ってくれる優しい両親で、兄弟も皆、温厚で仲の良い家族でした。
「私も温厚だが、負けず嫌いでね。勉強が好きで、小学校の成績はいつも上の方だったよ。」と笑いながら振り返ります。
戦時中、戦争に行くのが当たり前とされた頃、「どうせやるなら飛行機乗りになる」と決意し、13歳の時、岩手県一関市での試験に、その後茨城県土浦で飛行機の適性検査に合格しました。1ヶ月間のグライダー（プロペラのない航空機）訓練を経て、土浦海軍航空隊に入隊。しかし、訓練の最中に終戦を迎えました。
終戦後、故郷に戻り1年遅れで地元の高校へ入学し、卒業まで成績は常にトップ。「絶対に負けたくない」と、通学中も単語帳を開き、英単語を覚えました。
その努力は実を結び、仙台市の東北大学工学部に見事合格。在学中に所定の単位を取得し、資源工学科を卒業しました。

卒業後は、青森県大畑町の会社に就職します。当時、町には大学を出ている人がいなかったため、町長から「教育委員になつてくれ」と頼まれ、教育委員になりました。教育委員としての仕事は2期目で更に評価され、教育委員長になりました。
学校視察等で小学校を訪問した時に「とても良い先生だな」と一目惚れをした相手が、後に妻となる弘子さんでした。弘子さんと28歳の時に結婚をし、3人の男の子（淳さん、靖さん、寿さん）に恵まれました。「家内は優しい人で、喧嘩もした事がないんだよ。」今でも互いを大切にしたい、寄り添い続けています。
芳克さんの趣味は、旅行に行つては、カメラで風景を撮影することです。60歳頃から弘子さんと義姉妹夫婦と、年2回の海外旅行を楽しんでいます。「20ヶ国は行ったかな。スペインとフランスの景色がとても綺麗だったな。」
趣味を楽しみながら仕事では、教育委員と教育委員長を20年勤め、68歳の時に文部大臣賞を、80歳の時に皇居にて教育行政功労により天皇陛下に拝謁し、勲記、勲章を頂きました。また、下北交通の創設者で会長を勤めた義父の元で非常勤取締役を21年間勤めました。
2025年1月に股関節を骨折。5月から「みちのくデイケアセンター」に通っています。
「職員は気持ちの良い優しい人ばかり。100歳になっても通いたい。」穏やかに話す芳克さんの瞳には、人生を楽しむ意欲が輝いています。記／南河 寛子

叙勲を受けた事が光栄です。

新春の挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年を健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は当法人の運営に際し、格別のご理解とご支援を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

私たち社会福祉法人青森社会福祉振興団は、昨年、創立50周年という大きな節目を迎えることができました。この半世紀、地域福祉の充実を目指し、介護・医療・福祉の現場において、常に地域の課題と向き合いながら、先駆的な取り組みを積み重ねてまいりました。時代の変化とともにケアのかたちは変わっても、「福祉の原点」である人と人とのつながり、思いやり、支え合いの心を大切にしながら、地域に根ざした実践を続けてまいります。

当法人の理念である「創意と工夫 努力と情熱」人、ひとりひとりの心地よさ」には、ご利用者、一人ひとりの人生に寄り添い、その方らしい暮らしを支えたいという、私たちの強い思いが込められています。日々の支援の中で、職員一人ひとりが創意と工夫を重ね、努力と情熱をもって向き合うこと。その積み重ねが、ご利用者の「心地よさ」や「安心」につながると思っております。

また、理念のもと、私たちは常にご利用者の「尊厳」と「権利」を守るケアを心がけています。年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が自分らしく生きる権利を持ち、その人らしい選択をする自由があります。私たちは、その権利を守り、支えることこそが、福祉の本質であり、社会福祉法人としての使命であると考えています。そのために、専門性の向上はもちろんのこと、心を通わせるケア、地域とのつながり、そして職員同士の協働を大切にしながら、日々の実践に取り組んでおります。一方で、介護業界を取り巻く環境は、今後ますます厳しさを増していくことが予想されます。人材不足や制度の変化、利用者ニーズの多様化など、私たちが直面する課題は決して少なくありません。だからこそ、これからの時代を生き抜くためには、柔軟な発想と対応力が求められます。私たちは、これまで培ってきた経験と信頼を礎に、変化を恐れず、常に学び、挑戦し続ける姿勢を大切にしてまいります。

新しい年は、次の50年に向けた第一歩となる年です。地域の皆さまにとって、いつでも頼れる存在であり続けられるよう、職員一同、心をひとつにして努力してまいります。

本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

二〇二六年新春
社会福祉法人
青森社会福祉振興団
理事長 中山 辰巳



発表の様子

目指せ！生産性向上

リーダーQC発表会を開催しました

2025年12月1日、当法人でリーダーQC発表会を開催しました。QC (Quality Control) とは、業務やサービスの品質を一定水準に保つための改善活動です。当法人では、中山理事長の提案により1985年からいち早く取り入れ、40年にわたり継続してきた歴史ある取り組みとなっています。

今回の発表会には、各事業所を代表するリーダーが集まり、4チームが日頃の改善成果を発表しました。業務効率化をテーマに、ソフトウェアを活用したムダの削減や作業時間の短縮、データ分析による問題点の「見える化」など、実践的で効果の高い改善事例が次々と披露されました。特に、根拠に基づいた改善を進め、生産性向上へ結びつけた取り組みは、高い評価を集めました。発表後の質疑応答では、多くの職員から積極的な質問が出され、予定時間を超えるほど活発な意見交換が行われました。このように事業所間で活動内容を共有し合う機会は、組織全体のレベルアップにつながる大きな意義があります。

近年、介護分野では人材不足の深刻化に伴い、生産性向上の取り組みが全国的に求められています。当法人では、早い段階からQC活動を推進してきたほか、利用者見守りシステムやケアプラン作成業務へのAI導入など、ICTの整備にも積極的に取り組んできました。今回のQC発表会を通じて、改善活動が現場課題の解決に有効であり、生産性向上に直結する取り組みであることを改めて確認できました。今後もQC活動を継続し、より高い品質と効率を追求しながら、組織力の一層の強化に努めてまいります。

やさしい街づくりを応援しています。

プロクレアホールディングス
経営のお役に立つ

あおきんリース
十和田支店

〒034-0011 十和田市稲生町 15-1
TEL.0176-22-6801
http://www.aogin-lease.jp

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、
経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店：むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

快適な生活環境を目指して

谷川環境衛生開発株式会社
代表取締役 谷川 聡

営業項目
・浄化槽保守点検・浄化槽清掃
・し尿収集運搬
・一般廃棄物収集運搬
・産業廃棄物収集運搬
・排水管・排水溝洗浄及び側溝清掃
・グリーストラップ清掃
・下水道管渠清掃・テレビカメラ調査
・下水道処理施設、集落排水処理施設維持管理
・排水処理プラント維持管理
・一般廃棄物最終処分場維持管理

創業 昭和44年1月
所在地 〒035-0051 青森県むつ市新町41番1号
TEL 0175-22-2659 FAX 0175-22-7783
フリーダイヤル 0120-12-2659
E-mail tanikawa@alpha.ocn.ne.jp

第41回 同時開催
下北地区 子ども会
郷土芸能発表会
13時開演

入場無料 令和8年2月8日(日)曜日
下北文化会館 大ホール

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニツシヨク
NISSYOKU

青森県むつ市大曲二丁目 13-35
電話(0175) 22-7222
FAX(0175) 22-7081

岩盤浴・もみほぐし・コラーゲンマシン etc...
こころ、からだ、ステキにすこやかに。

SAKURA
岩盤浴＆リラクゼーション くらぶ

☎ 0175-23-8700
〒035-0054 青森県むつ市海老川町3-11
【営業時間】9:30～12:00, 13:00～18:00
※窓口・電話受付は17:30まで
【定休日】毎週水曜日・年末年始

社会福祉法人
青森社会福祉振興団

医療・介護ネットワーク 2026

青森県



●むつ市十二林 11-13

特別養護老人ホームみちのく荘(定員 60 名)
TEL 0175-23-1600 FAX 0175-31-1144グループホームまるめろ(全個室・定員 9 名)
TEL 0175-23-0611 FAX 0175-23-1523ケアハウスみちのくグリーンリブ(全個室・定員 20 名)
TEL 0175-23-0500 FAX 0175-23-1500みちのくデイケアセンター〈一日型〉
TEL 0175-23-0711 FAX 0175-23-1500

●むつ市十二林 11-13

みちのくケアプランセンター(居宅介護支援事業所)
TEL 0175-23-7070 FAX 0175-23-7953

●むつ市十二林 17-1

みちのくクリニック〈内科・消化器内科〉
TEL 0175-23-1171 FAX 0175-23-1172みちのく訪問看護ステーション
TEL 0175-23-6000 FAX 0175-23-6019みちのく十二林ショートステイ(全個室・定員 30 名)
TEL 0175-23-1160 FAX 0175-23-0783みちのく訪問介護ステーション
TEL 0175-23-9100 FAX 0175-23-6019

ホームページから法人のイベントや採用情報、事業所の日常などを配信しています。
スマートフォンをお持ちの方は、こちらのQRコードからアクセスできます。ぜひご覧ください！

青森社会福祉振興団

特別養護老人ホームまるめろ



●むつ市金谷 2-20-1

みちのく金谷リハビリテーションセンター
TEL 0175-23-1170 FAX 0175-23-0761みちのく訪問リハビリテーションセンター
TEL 0175-23-1170 FAX 0175-23-0761みちのく金谷デイサービスセンターまるめろ
TEL 0175-23-0772 FAX 0175-23-0762むつ市地域包括支援センターみちのく
TEL 0175-23-7930 FAX 0175-23-7931

●むつ市金谷 2-20-2

特別養護老人ホーム金谷みちのく荘(全個室・定員 29 名)
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782みちのく金谷ショートステイ(全個室・定員 11 名)
TEL 0175-23-0781 FAX 0175-23-0782

宮城県



●仙台市太白区鉤取本町二丁目 12 番 20 号

特別養護老人ホームまるめろ(全個室・定員 80 名)
TEL 022-797-0273 FAX 022-797-0274まるめろケアプランセンター西多賀(居宅介護支援事業所)
TEL 022-302-5930 FAX 022-302-5981

ベトナム



●ベトナム／フエ事業所

まるめろ式高齢者介護ホーム(国立フエ中央病院内)
TEL +84-91-784-7410

フエは綺麗な景色がたくさん

『休日から生まれる 心の余裕』

シンチャオ！(ベトナム語でこんにちは)。海外事業部の畑中双葉です。フエはだいたい気温が下がり、半袖だと流石に寒いと感じる事が多くなりまし。この時期になると、日本の雪景色が恋しくなります。

介護の仕事は、毎日様々な出来事があり、心も体もフル稼働する事が多いです。そのため、私にとって『休みの日』はただの休日ではなく、次の勤務へ向けて自分を整える大切な時間だと感じています。

以前の私は、休みの日でも仕事の事が常に頭にあり、なんとなく気が休まらない時期がありました。しかし、先輩に「休むのも仕事のひとつ」と言われた事をきっかけに、意識を変えるようになりました。

今は休みの日を『自分を戻す時間』として過ごしています。部屋で好きな本を読む、景色を見ながらゆっくり散歩する。特別な過ごし方ではありません。

が、心が軽くなり、翌日からのケアに向き合える気持ちに余裕が生まれます。

休みの日、しっかりと自分を整える事で、利用者に対して落ち着いた気持ちで接する事ができます。忙しさに追われがちな仕事だからこそ、『休みの日』を大切にしながら、これからも前向きに介護と向き合っていきたいです。

友人とご飯を食べに行くのもリフレッシュのひとつ